

三島駅南口駅前広場整備

アナ： 「市長が語る2023三島」第24回の今日は、「三島駅南口駅前広場整備」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島駅南口周辺の整備ということでは、今後、東街区再開発事業のほか、無電柱化事業や本日お話をいただく三島駅南口駅前広場整備事業を予定しているとのことですが、最初に、駅前広場の整備を行う背景について教えてください。

市長： 現在の三島駅南口駅前広場は、20年前に街中がせせらぎ事業の一環として、水と緑を活かした広場として整備し、国土交通省の「美しいまちなみ大賞」や「手づくり郷土賞」を受賞するなど、高い評価をいただきました。

また、平成30年度からスタートいたしました「三島市公共交通網形成計画」では、路線バスの行き先ごとにナンバーを振り、色別に表示するなど“ソフト面での整備”を盛り込み、実施いたしております。

今年度から、新たな「三島市地域公共交通計画」がスタートし、三島駅南口駅前広場の“ハード面での整備”を位置付けております。

そのような中、駅利用者のアンケート調査におきましては、当時植樹しましたケヤキの木などに飛来するムクドリへの苦情、雨天時に駅舎からバス・タクシーの乗り場まで濡れずに移動できる屋根の設置、年齢・障がいの有無にかかわらず乗降がしやすいバス乗り場や十分な歩行空間を求める声など、様々なご意見やご要望をいただいております。

アナ： なるほど。アンケート調査で様々なご意見やご要望があるとのことですが、どのような調査や検討をされていらっしゃるのでしょうか。

市長： 市民意識調査や市民対象の公共交通に関するアンケート調査も行っておりますが、これに加え、駅利用者を対象としたアンケート調査を2回実施いたしましたほか、更に昨年度からは、日頃、通勤・通学で三島駅南口駅前広場を利用している企業や学校に出向き、利用者のニーズや問題点の把握に努めているところです。

三島駅南口駅前広場は、三島の顔ともいえる重要な施設でありますので、東西街区や楽寿園を一体で捉えて、まちの連続性や回遊性に配慮した整備をすることが不可欠となります。そこで、水や緑と花を活かした現在の趣を残しながら、「ガーデンシティみしま」の顔にふさわしいものとするため、景観・建築・交通・都市計画を専門とする4人の大学教授にアドバイスをいただきながら整備計画案をまとめているところです。

アナ： 具体的には、どのような駅前広場になるのでしょうか。

市長： バスが乗客のより近くに停車でき、乗降しやすい形状にしていくことをはじめ、

雨天時には傘を差さずに駅舎からバス・タクシー乗り場に移動ができるよう屋根を設置する考えです。

このほかにも、一般車両の乗降用の車線をタクシーの車線と分けるなど、様々な検討を行っております。

今後、整備計画案がまとまりましたら、市民の皆様のご意見をお伺いするためパブリック・コメントの実施を予定しており、その際には整備後の三島駅南口駅前広場の模型を製作し、展示することも検討しております。

また、パブリック・コメントでの意見等を踏まえた設計や工事を経て、令和9年度の完成を予定しております。

アナ： 三島駅南口周辺整備が完了しますと、現在とは様子が大きく変わりますね。

市長： はい。三島駅南口の駅周辺地区は、今後予定しております様々な整備事業によりまして、今後5、6年で、よりウォーカブルで快適な空間に大きく変貌してまいります。

また、駅周辺地区のみならず、中心市街地全体を歩いて楽しめるよう、まちなかりノベーションを進め、三島というブランドを確固たるものとする事で、市民の皆様のシビックプライドをより一層高め、また、民間投資を呼び込み、「三島に住んで良かった、来て良かった、また行きたい」と思っただけのまちづくりにつなげてまいります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。